

今回は、「お絵かきロジック」を紹介します。「イラストロジック」とも呼ばれます。ルールに従って、マス目を塗りつぶしていくと、**絵が完成する**というものです。ルールを理解して、取り組めるようになるまでが少し苦労しますが、やり方がわかるととても楽しく取り組みます！  
図は、問題例です。

		2	1	1						
		1	2	2	4	8	7	7	7	
	5	1	1	1	1	1	2	1	1	10
5										
5										
5										
9										
2	6									
1	8									
6	1									
1	1	1								
10										

## <基本的な理解>

①問題は、2つのエリアにわかれます。

**ア** 塗りつぶして絵にしていけるエリア

**イ** 塗りつぶすマス目の数を示したヒントエリア

(このエリアは絵にはなりません)

ですので、**イ**をヒントに、**ア**のマス目を塗りつぶしていきます。

		2	1	1						
		1	2	2	4	8	7	7	7	
	5	1	1	1	1	1	2	1	1	10
5										
5										
5										
9										
2	6									
1	8									
6	1									
1	1	1								
10										

## <ルール>

① **イ**の数字は、その列で「**連続して塗りつぶすマス目の数**」を表します。

・例えば、横列で、一番上の列は、「5」なので、

10マスのうち、どこか連続で5マス目を塗りつぶすことになります。

しかし、10マスのうち連続した5マスは、以下の6通りもあり。

この場合は、**どれになるかまだわかりません**。

5										
5										
5										
5										
5										
5										

・横列で、一番下の列は「10」なので、全てのマス目が塗れます。

同様に、縦列で一番右の列も「10」なので、全てのマス目が塗れます。

(図1)

		2	1	1						
		1	2	2	4	8	7	7	7	
	5	1	1	1	1	1	2	1	1	10
5										
5										
5										
9										
2	6									
1	8									
6	1									
1	1	1								
10										

図1

		2	1	1						
		1	2	2	4	8	7	7	7	
	5	1	1	1	1	1	2	1	1	10
5										
5										
5										
9										
2	6									
1	8									
6	1									
1	1	1								
10										

② **イ**に数字が複数かいてある場合は、数字は、連続して塗りつぶすマス目の数であるので、

それぞれの数字で塗りつぶしたマス目の間には、**何も塗らないマス目**が**何マスか**あります。

・また、**ヒントの数字は順序(左右, 上下)も関係あります**。かいてある順番の通りに塗ります。

・横列で、上から6列目ですと、「2, 6」なので、

左側から、「2マス、間があいて、6マス」塗ることになります。

右の図のように、3通りが考えられます。

2	6									
2	6									
2	6									

・縦列で、右から2列目ですと、「上から7マス、間があいて、1マス」塗ることになります。

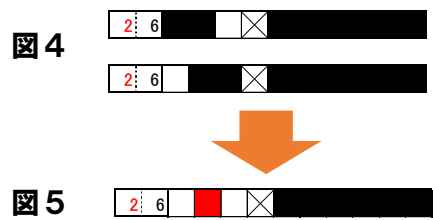
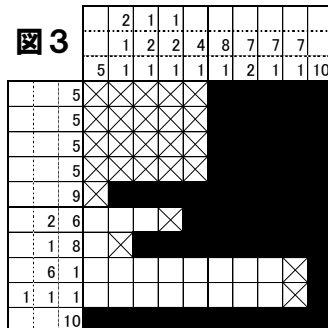
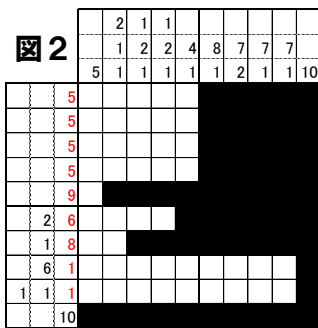
<進め方のコツ>

◎何も塗らないことがわかったマス目は、**×印をつける**とわかりやすいです。

- ・図1では、右端の列が全て色が塗られていることから、**横列で右側の数字**は図2のように塗る場所が確定します。(図2)
- ・何も塗らないことがわかったマス目に×をつけます。(図3)

◎数字の一部が塗りつぶすことができる場合もあります！

- ・横列で、上から6列目は、「2, 6」で、すでに6マスが塗られています。ですので、残りは、あいている3マス中、連続した2マスが塗れることになります。その塗り方は、図4のように、2通りが考えられます。この場合は、どちらにしても図5の赤マスは必ず塗りつぶすことができます。

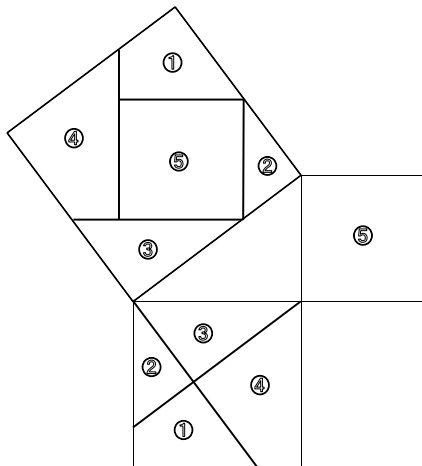


- ・以降は、縦列に注目 → 横列に注目 → を繰り返していくとできあがります。

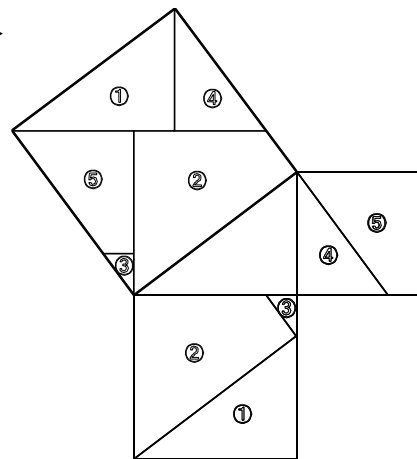
◎このように、**必ず塗ることができる場所だけを塗り、絶対に塗ることができない場所に×をつけていく**ことが大切です。「おそらくここだろう」で塗るのは失敗のもとです。また、数の大きな数字は、塗る場所を特定しやすいです。

前回(第2号)の答え

<問題1>



<問題2>





5

				1																
				3	3	3								3	4					
			3	2	3	3	3	3	2	1			1	1	1	1			4	
	5	4	3	3	2	3	4	3	3	3	5	6		1	2	1	2	4	1	
6	3	5	3	11	3	3	3	10	4	3	3	4	6	9	6	2	6	9	6	

	5	4	1	4																
	4	3	1	4																
	4	3	2	1	4															
		3	3	3	3															
		2	3	4	1															
1	3	3	1	1	1															
		1	3	3	1															
			4	3	2															
		2	3	2	5															
	2	3	3	3	3															
		4	3	3	2															
		2	3	3	2															
		2	4	3	2															
			5	3	2															
			5	3	3															
	1	1	2	2																
		1	1	5																
			5	1	1															
				5	3															
					5	3														

6

				1						1				3						
				1	1				1	1			1	1	4		5			
			2	1	1	1	1	1	1	1	2		1	1	2	1	5	1	5	
	4		1	1	4	3	3	3	4	1	1	1	1	1	1	1	2	2	7	
18	7	9	1	2	2	1	1	1	2	3	1	1	1	1	1	5	5	4	1	

		7	1	5																
		1	1	5																
	2	9	1	5																
		2	3	4																
		2	7	1	3															
		3	1	1	1															
1	1	1	1	1	1															
		1	4	9																
		1	1	2																
		1	1	2																
		1	1	6	1															
	1	3	1	2	1															
1	1	2	2	1	1															
		3	5	1	1															
			2	1	1															
			2	4																
			2	2																
			2	1	2															
			2	2																
			2	1	1	1														

※解答は、次号（第4号）に掲載いたします。